

# 平成 27 年度 全国学力・学習状況調査、市学力調査の結果について【中学校】

## 学力調査結果の公表の考え方

義務教育の目的は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことにある。  
本市における、この義務教育の目的の学力面での達成状況を明らかにするため、学力調査の結果

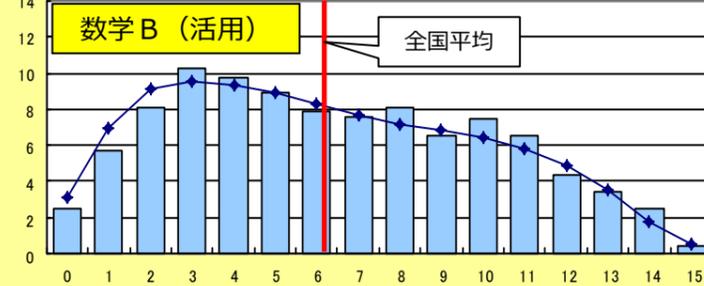
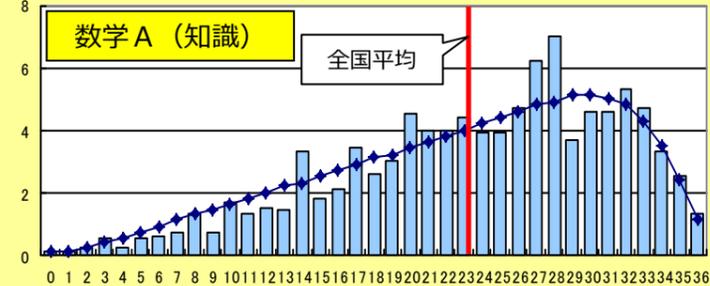
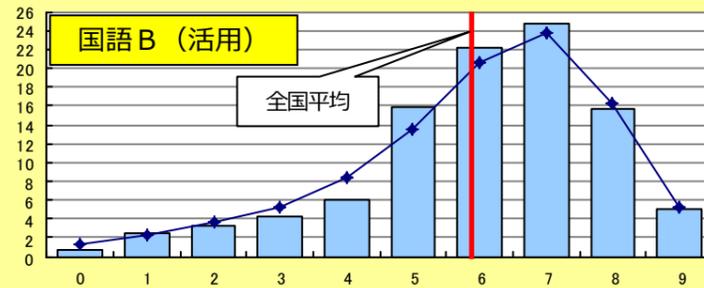
に基づき、(1)基礎的な学力の定着状況と、(2)児童・生徒の一人一人の学力の伸長の度合いを市全体及び学校ごとにまとめ公表する。  
また、この調査結果を、今後の教育活動の一層の改善・充実を図っていくための基礎資料とする。

## 学力の定着状況について 平成 27 年 4 月 21 日実施 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果より

### 正答数分布

※縦軸：生徒の割合 横軸：正答数

※棒グラフ：東久留米市 折れ線グラフ：全国

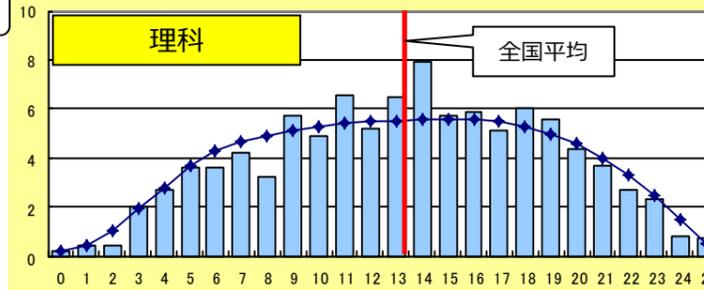


### 平均正答率 (全国) 未滿の生徒の割合 (%)

教科	本市	全国	東京都
国語 A (知識)	35.3	37.5	33.8
国語 B (活用)	32.3	34.2	31.8
数学 A (知識)	44.1	45.9	42.5
数学 B (活用)	53.2	55.2	51.2
理科	49.1	50.8	51.5

### 平均正答率 (%)

教科	本市	全国	東京都
国語 A (知識)	77.1	75.8	77.2
国語 B (活用)	66.9	65.8	67.0
数学 A (知識)	65.9	64.4	66.3
数学 B (活用)	42.9	41.6	44.0
理科	53.6	53.0	52.5



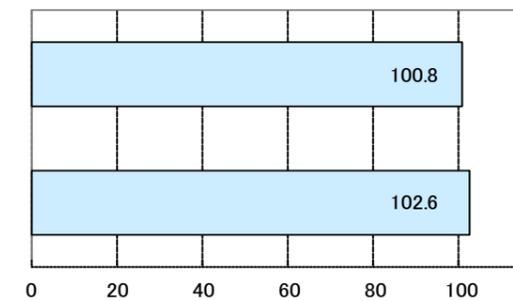
## 学力の伸びについて 平成 27 年 4 月 14 日実施 平成 27 年度市学力調査より

平成 25 年度中学 1 年生と平成 27 年度中学 3 年生 (同一生徒) の平均点を、それぞれ全国平均を 100 とした指数に換算し、伸びを比較

### 【国語】

平成 25 年度  
中学 1 年生

平成 27 年度  
中学 3 年生

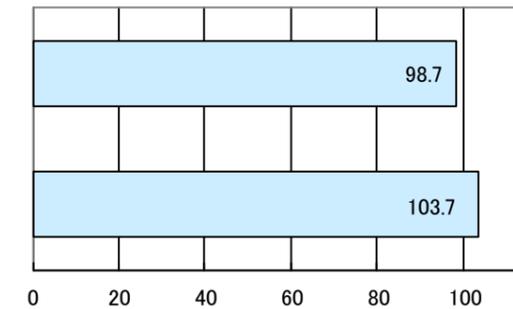


1.8 ポイント  
上昇

### 【数学】

平成 25 年度  
中学 1 年生

平成 27 年度  
中学 3 年生



5.0 ポイント  
上昇

調査結果の概要

現状・課題

### 【概要】

- 国語 A・B、数学 A は正答数の多い層が厚く、理科では幅広く分布している。数学 B は正答数が少ない層が厚い。
- 平均正答率は、国語 A・B、数学 A・B は都平均より下回っているものの全国平均よりも 1.1 ポイント以上上回っている。理科は全国平均及び都平均より上回っている。
- 平均正答率 (全国) 未滿の生徒の割合は、国語 A・B、数学 A・B は都より上回っているものの全国より 1.8 ポイント以上下回っている。理科は全国及び都より下回っている。

【各教科の課題】 ※全国平均より下回っている課題のうち上位のもの

《国語》「目的に応じて要旨を捉えること」「擬態語、倒置法等の表現の技法について理解すること」「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと」「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと」に課題が見られる。

《数学》「具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくること」「多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解すること」「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理すること」に課題が見られる。

《理科》「露点を測定する場面において、最も高い湿度の時間を気象観測の記録から考えること」「気体の特性とそれに応じた捕集法があること」の知識を活用して、事例の捕集法では正確に量れない理由を説明すること」「予想を検証するための実験を計画すること」に課題が見られる。

### 【概要】

- 国語において、平成 25 年度中学 1 年生では、全国値 100 を、0.8 ポイント上回っていたが、平成 27 年度中学 3 年生では、2.6 ポイント上回り、2 か年で 1.8 ポイント上昇した。
- 数学において、平成 25 年度中学 1 年生については、全国値 100 を、1.3 ポイント下回っていたが、平成 27 年度中学 3 年生では、3.7 ポイント上回り、2 か年で 5.0 ポイント上昇した。

【各教科の課題】 ※全国平均より下回っている課題のうち上位のもの

《国語》

- 「対義語についての知識」「敬語を正しく使って書くこと」「動詞の活用についての知識」に課題が見られる。

《数学》

- 「多項式の減法」「命題の逆に関すること」「文字を用いた式を解くこと」「図形の知識を生かし課題となる図形の条件を考えること」に課題が見られる。